

# 豆知識通信

「これでいいのかしら?」「ほんとはどうなの?」ちょっとしたことだけど今さら誰にも聞けない。そんな疑問、質問にお答えする豆知識通信。ちょっとだけ、あなたのお力になります。

**Q 1** お葬儀の時にお香典を持っていますが、香典とはどんな意味があるのでしょうか?

**A 1** 「香典」について歴史や意味などを、詳しく解説していきます。下記をご覧ください。

【葬儀概論より引用】



## 【香典の歴史】

香典の歴史を見てみると昔は、香典というと特に農村部では、長い間、米などの食料を持ち寄ること(食料香典)でした。その後、都市では明治期に金銭香典が一般的になりました。地方で金銭香典に移行し始めたのは、大正期から昭和初期ということです。貨幣経済の発達に伴い、今のような金銭香典が一般的になりました。



## 【香典の意味】

「香典」とは、「お香を供える」という意味があり、それが転じて、香を買う代金である「香典」「香資」「香料」になりました。歴史の中でも触れた、食料香典の由来は、仏教的には香が「仏の食べ物」という意味から転じて食料になったものと考えられますが、現実的には葬儀で食事の振る舞いが盛んに行なわれたことにあります。喪家では死者の成仏を願い、滅罪するための布施として、人々に食事をふるまいました。今でも「供養になるから」と食事の席(お斎や直会など)に連なるのが求められるのは、このためです。

香典は、地域社会における義理の1つであり、義理を返すことは相互扶助的精神の表れでもありました。

また、香典の表書きについて『御仏前』の意味を少し解説します。御仏前を使う宗派は大きく2つあります。1つ目は浄土真宗です。浄土真宗では、亡くなった方は即浄土に往生したのであり、「霊」は認めていないため御仏前を使います。2つ目は曹洞宗などの禅宗です。特にこだわらないとするものの、禅宗では教義に「浄土」はありませんので「成仏以前」という考え方もなく、御仏前とするのが一般的とされています。

★次回は、香典の表書きの宗旨による違いを、詳しくご紹介いたします。

日野岩葬送会館 想樹の杜

☎ 0120-122-866

✉ [info@hinoiwa.com](mailto:info@hinoiwa.com)